

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成31年 6月 20日

京都府知事 殿



提出者

住 所 大阪府大阪市住之江区南港北1丁目7番89号

氏 名 日立造船株式会社 代表取締役 谷所 敬

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

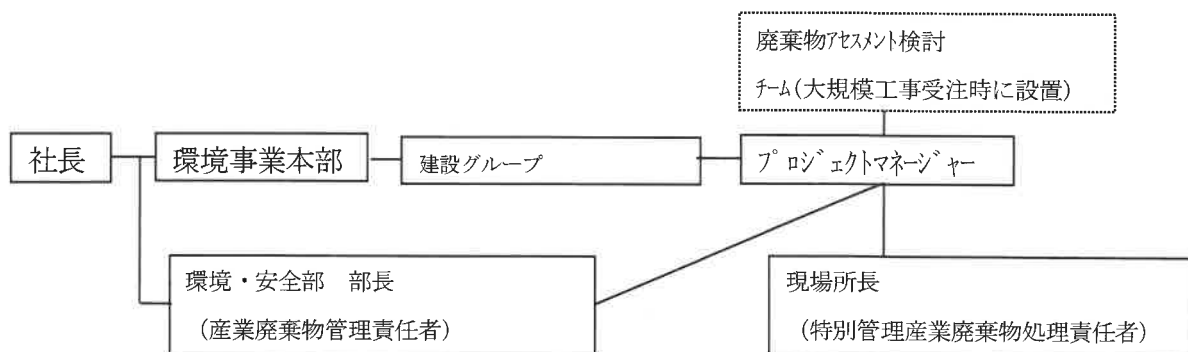
電話番号 06-6569-0145

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日立造船株式会社 本社
事業場の所在地	大阪府大阪市住之江区南港北1丁目7番89号
計画期間	平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	1580百万円
③ 従業員数	1591人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	燃え殻、ばいじん → 中間処理業者に委託し、コンクリート固化等の処理を行い、埋立処分。

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（平成 30年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ごみ焼却施設の保守点検、補修工事が主であり、排出量を抑制することは難しい。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 機械設備の大規模な修繕を無くすよう、より詳細な点検を行い、維持補修に努める。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 特別管理産業廃棄物の保管基準に従って種類毎に保管 ・ 保管場所は、分別特管名と処理責任者名を表示
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（平成 30年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自社では行っていない。		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 自社では行わない。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（平成 30年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 自社では行っていない。			
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 自社では行わない。			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

① 現状	【前年度（平成 30年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自社では行っていない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 自社では行わない。		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（平成 30年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 燃え殻：コンクリート固化処分を行っている。		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) 現状の取組を維持する。			
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（平成 30年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		66.46 t
	(今後実施する予定の取組) 電子マニフェストを導入する。		
※事務処理欄			

平成30年度 特別管理産業廃棄物実績

(単位:t)

産業廃棄物の種類	廃石綿	ばいじん	燃え殻	石棉含有産業廃棄物	汚泥(有害)	合計
排出量	8.97	23.78	4.66	7.45	21.6	66.46
自ら再生利用する量	0			0	0	0
自ら熱回収する量	0			0	0	0
自ら中間処理による減量	0			0	0	0
自ら埋立処分又は海外投入処分する量	0			0	0	0
全処理委託量	8.97	23.78	4.66	7.45	21.6	66.46
優良認定処理業者への処理	0			0	0	0
再生利用業者への処理	0			0	0	0
認定熱回収業者への処理	0			0	0	0
認定熱回収を行う業者への処理	0			0	0	0

令和元年度 特別管理産業廃棄物計画

(単位:t)

産業廃棄物の種類	廃アスベスト	燃え殻	石綿含有産業廃棄物	ばいじん	第13号産業廃棄物	合計
排出量	50	4	40	70	5	169
自ら再生利用する量	0	0	0	0	0	0
自ら熱回収する量	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理による減量	0	0	0	0	0	0
自ら洋立投入処分する量は	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	50	4	40	70	5	169
優良処理業者への委託量	0	0	0	0	0	0
再生利用業者への委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者への委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外への委託量	0	0	0	0	0	0